

リアル舞台なかのコンペ 全部門予選は映像審査

部門	創作（年齢不問）	6分以内
	シニア（高校卒業年齢以上）	4分以内
	高校生（該当年齢含む）	3分以内
	中学生	3分以内
	小学校高学年（小4-6）	3分以内
	小学校低学年（未就学～小3）	3分以内

※群舞で年齢が部門をまたいても参加可能です。人数が多い方の年齢部門にお申込みください。

各部門とも、ジャンルを問わず「見る人に感動を与えることができるかどうか」という視点で、「技術」「個性」「芸術性」「ダンサーの輝き」などを総合的に審査する。

モダンダンス、バレエ、児童舞踊、コンテンポラリー、ストリート系ダンス、ジャズダンス、テーマパーク・ダンス、民俗舞踊等、舞踊の種類は問いません。

*バレエはヴァリエーションのほか、古典全幕に含まれるアンサンブルの抜粋・縮小・改訂版、あるいは創作も歓迎します。

映像なかのコンペ 予選なし決選

部門 Trial 7（年齢不問）6分以内

新たなダンス表現として、舞台とは異なる映像世界での表現に挑戦しているかどうか、その表現が優れているかどうか、審査する。

表彰・賞

創作部門

- ◇なかの洋舞連盟賞
第1位 賞金10万円
第2位、第3位
- ◇センターフィールド賞

高校生部門	中学生部門
小学校高学年部門	小学校低学年部門(含 未就学)

- ◇なかの洋舞連盟賞
第1位 第2位 第3位
- ◇指導者賞 第1位、2位、3位の指導者に贈ります。
- ◇入賞
- ◇努力賞
- ◇センターフィールド賞

シニア部門

- ◇なかの洋舞連盟賞
第1位 賞金10万円
第2位、第3位
- ◇入賞
- ◇センターフィールド賞

- ☐ 中野区長賞
- ☐ 現代舞踊協会賞
- ☐ チャコット賞
- ☐ 国際賞

- ☐ ヴィジュアル・プライズ ☐ テクニカル・プライズ
- ☐ キッズ・プライズ ☐ ホープ・プライズ

審査員

正田 千鶴（なかの洋舞連盟会長）
中野真紀子（なかの洋舞連盟副会長）
小林 容子（なかの洋舞連盟内部顧問）
寺村 敏（なかの洋舞連盟相談役）
玄 悒 禎（なかの洋舞連盟アジア支部長）
岩本 奈月（バレエスタジオ ダンスナッツ主宰）

内田 香（Roussewaltz主宰）
小平 浩子（スターダンサーズ・バレエ団）
妻木 律子（be offディレクター）
藤原 悦子（スタジオ・トゥループ主宰）
ゲスト審査員
片岡 康子（お茶の水女子大学名誉教授）

	リアル舞台なかのコンペ		映像なかのコンペ
部門	中学生 小学校高学年 小学校低学年	創作 シニア 高校生	Trial 7
申込期間	6月1日～6月25日	8月1日～8月25日	8月1日～8月25日
予選	7月12～13日（映像審査） 「映像セミコン2023」に申込み の方は申込みできません。 予選では審査員の「一言アドバイス シート」がもらえます。	9月14日（映像審査） 創作決選進出者は決選 までにスタッフ打合せ	—
会場	視聴覚ホール	視聴覚ホール	—
決選	8月28日	10月15日 創作部門の照明は可能な 限りご希望に沿うように 努めます	9月14日
会場	小ホール	大ホール	視聴覚ホール
審査料	予選（映像） 中学生 8,000 円 小学校高学年 8,000 円 小学校低学年 8,000 円 決選 ソロ 15,000 円 2,3 人 17,000 円 4 人以上 17,000 円に 1 人あたり 2,000 円追加	予選（映像） 創作 15,000 円 シニア 12,000 円 高校生 10,000 円 決選 創作 32,000 円 シニア 17,000 円 高校生 同左欄 音楽著作権料	Trial 7 15,000 円

■応募多数の場合は、期間内でも締め切ります。

会場はいずれも なかの ZERO

ー 申込方法 (共通) ー 全てオンラインで受け付けます

- ①ホームページの「なかのコンペ 2023 申込フォーム」から申し込む。(各受付期間中開設)
- ②①から 1 週間以内を目処に振込をする。
三菱 UFJ 銀行 中野支店 (店番 151) 普通預金口座 0860951 なかの洋舞連盟
- ③受付期間中に、対象となる作品の映像をギガファイル便で送信する。(詳しくはホームページ)

ー 映像撮影規定 ー

以下の規定を守っていただけない場合は、審査はできません。

1. 必ず申し込んだ本人の演技、または作品を撮影すること。
 2. 昨 (2022) 年 8 月以降に撮影したものであること。他のコンクール等での録画は不可。
 3. 演技中は、指導者の指導や周りの人の声かけ、拍手などが入らないようにすること。
 4. 映像は 1 回撮りで、一切編集・加工・補正せず、撮影したそのままの状態であること。
 5. 撮影は原則屋内で、レッスン時のようなフラットな明かりのみで撮影すること。衣裳の着用、メイクの有無は自由。
 6. 音楽は映像にあとから当てずに、必ず音楽を流している状態で撮影を行うこと。
 7. 原則として、撮影するカメラは固定し、横長画面で演技空間全体を正面から撮影すること。魚眼レンズは禁止。
ただし、出場者が画面に収まりきらない場合は、出場者を追う程度の多少のカメラの移動は構わない。
 8. 終始、出場者の表情・全身がはっきりと見え、映像と音声鮮明であること。
- ※空間が広すぎると被写体が遠く小さくなってしまいます。10m×6m 程度の範囲での撮影が見やすいようです。
※映像なかのコンペ「Trial 7 部門」は、No.4 以降の規定は不問です。ただし、バーチャルキャラクター、CG は不可。

主催 なかの洋舞連盟

後援 中野区 / (社福) 中野区社会福祉協議会 / (株)ジェイコム東京 杉並・中野局 /
(一社) 現代舞踊協会 / (一社) 全日本児童舞踊協会 / (公社) 日本バレエ協会 /
(一社) 日本フラメンコ協会 / (公社) 日本女子体育連盟 (予定)
協力 チャコット(株) / (株)ビデオ / (有)エイフレイム

問合せ なかの洋舞連盟

Tel 03-3916-4534

またはホームページ「お問合せフォーム」から 検索 なかのダンスコンペ

<http://www.NakanoDanceCompetitionTokyo.com>

なかのZERO案内図

